

# 事業報告

令和3年度 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業  
「杵築市とのプログラム協同実施」

日時：令和3年10月9日（土）

会場：杵築市中央公民館・山香中央公民館 参加者：17名（4市）

## <研修趣旨>

地域学校協働活動を推進し、地域における子どもの学びの充実を図るため、小学生向けの各種プログラムを多様な経験や技能をもつ外部人材と連携して開発・実施し、併せて市町村へのプログラムの紹介・普及を図る。

## <研修内容>

### 【第1部】▼「地域人材を活用した“きつきのきづき”体験」

#### プログラム見学

協力団体：きつき少年少女発明クラブ（コロコロタンク等の工作体験）

（有）福田林業（丸太切り体験とコースターづくり）

杵築七島蘭マイスタークラブ（亀のアクセサリーづくり）

今回のプログラムは、杵築市の地場産業として林業に注目し木材を使った体験活動、日本伝統の蘭草を使った工作、身近な素材を使い工夫する工作など3つの活動を準備し小学生が選択できるように企画していただいた。協力団体には単に体験活動をするのではなく、森林を守る活動や七島蘭についての説明など、小学生にとって学びとなる説明もしていただいた。このようなプログラムの構成は、子どもたちへの学びに寄与するものと考えます。

また、杵築・山香・大田地区のグローバル塾の関係者にもお手伝いいただき、子どもたちが安心して活動できる環境を作っていただいた。



【主催者あいさつ】  
大分県立図書館 副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁



【第1部】  
きつき少年少女発明クラブ



【第1部】  
福田林業



【第1部】  
杵築七島藺マイスタークラブ

## 【第2部】▼協力団体との協議・意見交換

協力団体の代表から今回実施したプログラム及びその他実施可能なプログラムについて説明していただいた。その後質疑・意見交換を行った。

各団体ともコロナ対策に苦心されている実態が紹介された。また、杵築・山香・大田の各グローバル塾の活動について、3地区の子どもたちが一堂に会することは初めてとのことであり、丸太切りの活動では地区をこえて小学生が名前でも応援する光景も、小さな交流も生まれたようであった。



【第2部】  
協力団体との協議

### <参加者感想>

- 簡潔に作り方を説明し、子どもに考えながら（正解を教えるのではなく）工作させているのがよいと思いました（うまくいかないのも経験になる）。
- 地元で生産されている材料（七島藺）を使って工作できるのは幸せなことと思います。
- のこぎりを引く体験は貴重と思います（大人でもなかなかない）。
- 第2部では講師を含め多くの方々の詳しいお話が伺えて、参考になりました。
- いろいろな指導者の方とつながりを持つことは、このうえない喜びです。
- 必要経費（個人負担等）と謝礼金の交渉に気を遣います。早めに相談することが必要かと（繁忙期を避ける等）。